



アートの特ピラをひらく本



『黒板アート甲子園作品集』
日学株式会社／総監修
(日東書院本社)
学校で毎日向かい合うものといえば…
黒板。その黒板がアートに！
高校生たちによる色鮮やかでダイナ
ミックな黒板アートの数々を見ることが
できます。描き方も説明されている
ので一度挑戦してみたいはかが…？

来る2026年9月に
市立美術館が開館します。
場所は川口駅からすぐ。

そこで、アートな世界を
味わうことのできる本を
紹介します。
美術館にもぜひ訪れてみて
くださいね。
1月から始まっている
プレオープン企画も
要チェック！



『美術館へ行こう』
草薙奈津子／著 (岩波書店)

川口市立美術館のHPはこちら↓
<https://kawaguchi-moa.jp/>



『なんで洞窟に壁画を描いたの？
美術のはじまりを探る旅』
五十嵐ジャンヌ／著 中島梨絵／画
(新泉社)

中学1年生の理乃は、博物館でみた
洞窟の壁画に興味を持つ。何のため
に大昔の人々は洞窟に絵を描いたの
か。さあ一緒に「美術のはじまり」
を探っていこう。



『アート少女』
花形みつる／著 (ポプラ社)



『ベラスケスの十字の謎』
エリアセル・カンシーノ／作
宇野和美／訳 (徳間書店)
この絵には、多くの謎がある。
ベラスケスが描いた名画のひとつ
『侍女たち(ラス・メニーナス)』。
この物語は宮廷につれてこられた少年
ニコラスの視点から、名画誕生までが
解き明かされる。史実とフィクション
が絶妙に混ざりあう、ミステリアスな
世界をご堪能あれ。

魔女の宅急便から広がる読書



『魔女の宅急便』1～6巻

角野栄子／作（福音館書店）

昨年、2025年に角野栄子さんの児童文学作品『魔女の宅急便』は刊行40周年を迎えました！

新米魔女の少女キキが、相棒の黒猫ジジと共に、たくさんの人々に出会いながら成長していく物語です。

まだ読んだことのない人はこの機会に。読んだことのある人は『魔女の宅急便』から読書を広げてみるのはいかがでしょうか？

～不思議な世界へ～



『西の善き魔女』1～8巻

荻原規子／著（中央公論新社）

最北端の地で暮らす少女フィリエル。彼女の住む国グラールは、王座が女性で固く守られ、その姿から「西の善き魔女」と称される。女王生誕祝祭日、フィリエルは父から母の形見として豪華な首飾りを渡される。それを身に着けて、初めての舞踏会に行くと、首飾りの宝石がフィリエルの出生の秘密に関わっていることが判明する。家に戻ると、父の姿がない。自身の出生の秘密。そして父の突然の失踪。真実を探る壮大な物語が今始まる。



『雪のひとひら』

ポール・ギャリコ／著
矢川澄子／訳（新潮社）

寒い冬、高い空の上で雪のひとひらは生まれました。愛する者との出会いと別れ、そして人生の最期、彼女は自分がこの世に生まれてきた意味を悟ります。彼女を通して美しい世界を感じることができるちょっと不思議なお話です。



『世界ぐるぐる怪異紀行』

奥野克巳／監修 奥野克巳／著
川口幸大／著 イリナ・グリゴレ／著
近藤宏／著 平野智佳子／著
福井栄二郎／著 藤原潤子／著
古川不可知／著 村津蘭／著
（河出書房新社）

何かがおかしい、けど、何が起きているのかわからない…。この世には「怪異」と呼ばれる現象があります。9人の文化人類学者たちが体験したり、見聞きした世界各地の「怪異」を紹介します！

《 編集後記 》 アートのよさって自分の心に素直になれるところ！「あ、これ好き！」を見つけてみてください。（担当N）学生の時、黒猫ジジに憧れて黒猫を飼いたいと思っていましたが、迎えたのは三毛猫でした。（担当H）最近のチョークはカラフルなのでとても素敵な黒板アートができますよ。卒業シーズンにぜひ！（担当M）